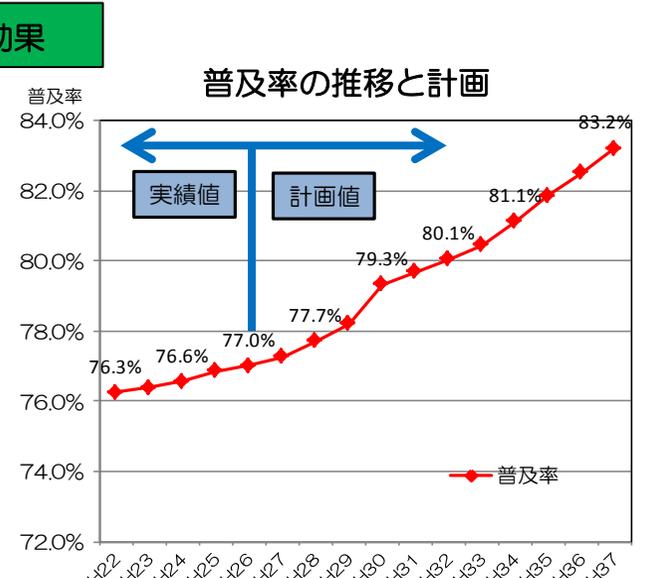
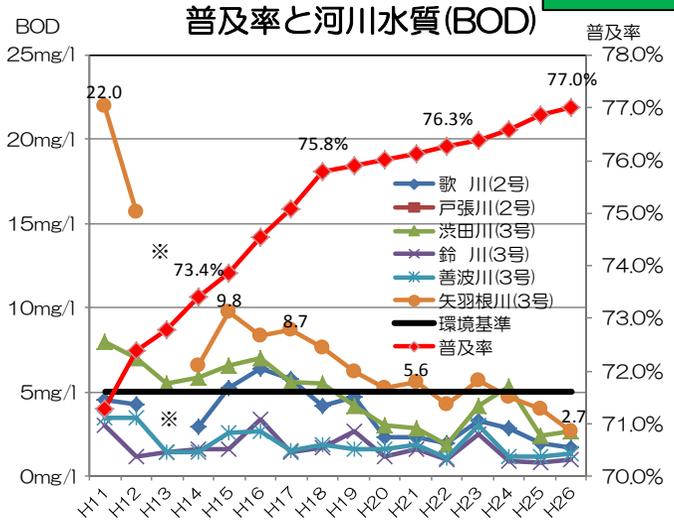
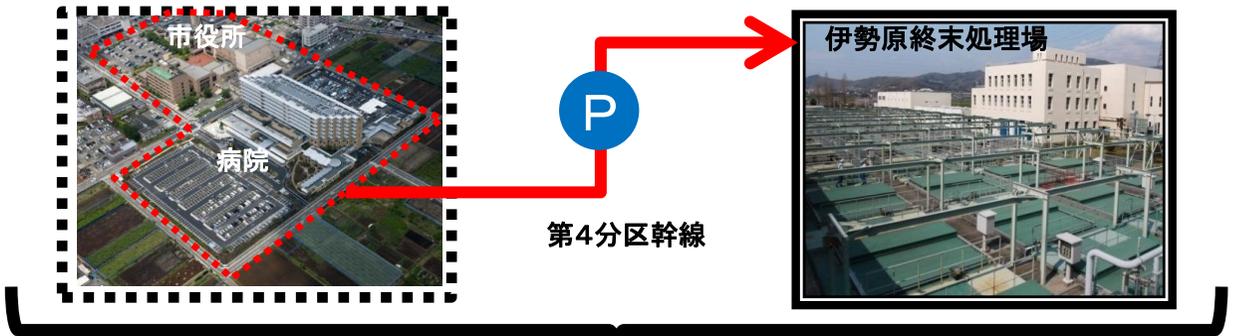
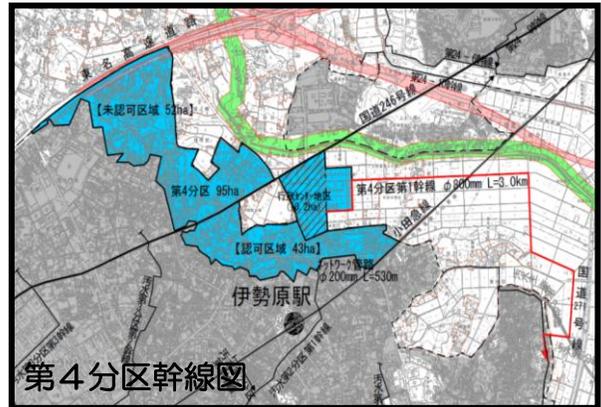


# 防災・医療拠点の生活環境がよくなりました

- 下水道普及率を向上(第4分区幹線で約0.7%UP(H22:76.3%⇒H26:77.0%→H37:83.2%を予定))。
- 下水道普及率の向上により河川水質が改善。
- 大規模地震時における防災拠点及び医療拠点の公共下水道機能を確保し、拠点環境が向上(防災拠点のマンホールトイレシステムの設置による減災対策)。



※ H13年度の歌川・矢羽根川については、計測機器の故障により計測ができなかったため欠測扱いとしております。

※ 普及率の計画値は平成27年1月末現在の推計値で、将来人口推計・人口密度及び整備計画等により変動します。